

日本事情シリーズ

日本の地理

(「日本人の一生」付き)

日本事情シリーズ

日本の地理

(「日本人の一生」付き)

日本語教育学会

〔執筆 者〕

斎藤 修一 慶応義塾大学国際センター

〔教材委員会〕（＊印委員長）

＊川瀬 生郎 国立国語研究所日本語教育センター
小堀 郁夫 国際学友会日本語学校
斎藤 明 アメリカ・カナダ11大学連合日本研究センター
斎藤 修一 慶応義塾大学国際センター
富田 隆行 亜細亜大学
吉田弥寿夫 大阪外国語大学

日本事情シリーズ「日本人の一生」

昭和56年3月31日 発 行

昭和59年8月31日 2版発行

著作権所有者 社団法人 日本語教育学会
兼 発 行 者

〒105 東京都港区虎ノ門1-19-12

第4森ビル

電話 03(502)0982

印 刷 者 株式会社 凡人社

〒102 東京都千代田区麹町6丁目2

麹町6丁目ビル6F

は じ め に

本書は、日本語学習者が日本の地理および日本の様々な事情を学ぶと同時に、それに関連した言葉を学ぶために作られた本である。したがって、内容は日本の地理的な条件から、そこで生活する人々の様子、日本の社会の現状にまでわたっている。それは、本書が日本の地理について深い知識を得たり、地理的な専門語を学ぶことを目標とはせず、日本について知識を得、日本語の基礎的な一般語いを広く学ぶことを目標として作られた本だからである。

本書は、一般的な地理の本とは異なり、固有名詞などはできるだけ避けて、外国人にも無理なく日本の地理についての概括的な知識が得られるように作られている。また、日本語初級の学習者でも抵抗なく本書を読みはじめ、次第に読み進んでいけるように配慮してある。つまり、ここで用いられている文型はやさしいものではじまり、次第に複雑なものになるように配慮してあり、語いも次第につみ上げるようにふやされている。しかし、本書では、特にやさしい言葉を使うようなことはせず、最初からふつう一般に新聞などで使われる言葉を使っている。

ふつう、言語を学習するときは各種の言葉が平均的に豊かになっていくことが望ましい。しかし、語学の初級の教科書はその性質上、人々が日常接する社会事象を表現する基礎的な言葉に疎遠になりやすい。そうした面を補うためにも、本書は、日本語初級の学生に教科書と並行して副読本として学習することをすすめたい。

なお、本書の地図は概念図であるので、くわしくは日本地図帳などを併用してほしい。

教師のために

- 本書は、日本語初級程度の学生から中級程度の学生の自習書または副読本として使用できるように編集してある。
- 本書を日本語の副読本または「日本事情」の教科書として使用する場合は、一項目1時間、やく60時間で学習することを目やすとしている。
- 本書は、難易度から一部・二部・三部にわけられる。一部は初級の学生、二部はややそれより程度が高く、三部は中級程度の学生にむくようになっている。しかし、文型および語いをつみ上げるように提出しているので、初級の学生でも、最初から順に学習させていけば、二部・三部の学習も困難ではないであろう。
- 本書は、一部で日本についての全般的な紹介、二部で地勢・気候、三部で産業・交通などを扱った。そして、それらについて述べるとき、できるだけ一つの現象の原因・理由などにもふれ、地名などの羅列は避けて、外国人にも学習しやすいようにした。
- 本書には、理解をたすけるために写真・図表・グラフなどをたくさん掲載した。それらを利用して学生に種々の表現の練習をさせることが望ましい。

学習者のために

- 本書は、語いおよび文型をつみ上げるようにして提出しているので、はじめから順次読み進んでいくことが望ましい。最初から順に読んでいけば、後半の高度な文で書かれた部分にも難なく進めるであろう。
- 本書は、学習者の便宜をはかって、むずかしい語には注釈をつけた簡単な「単語表」を別冊にした。
- 「単語表」では一度あつかったものは基本的には二度は出してない。それで、もし、意味のわからない語があつたら、「語い索引」でそれが何ページで新出になったかを調べ、「単語表」の左側に出ているページからその語を見つければ、その語の意味を知ることができる。
- 本書には耳からの学習用としてカセットテープが用意されている。

目 次

にほん
日本

1. 位置 ^{い ち}	1
2. 四季 ^{し き}	2
3. 気候 ^{き こう}	3
4. 都市 ^{と し}	4
5. 都・道・府・県 ^{と どう ふ けん}	5
6. 観光 ^{かん こう}	9

にほん れつとう
日本列島

1. 日本 ^{にほん} の山 ^{やま}	11
富士山 ^{ふじさん}	13
阿蘇山 ^{あそさん}	14
昭和 ^{しやうわ} 新山 ^{しんざん} とその周辺 ^{しやうへん}	14
2. 日本 ^{にほん} の川 ^{かわ} と平野 ^{へいや}	17
関東 ^{かんとう} 平野 ^{へいや}	18
石狩 ^{いしかり} 平野 ^{へいや}	19
黒部 ^{くろべ} ダム.....	20
3. 日本 ^{にほん} の海岸 ^{かいがん} と海流 ^{かいりゅう}	21
志摩 ^{しま} 半島 ^{はんとう}	22
八郎 ^{はちろう} 潟 ^{がた} 干拓 ^{かんたく}	22
鳥取 ^{とっとり} の砂丘 ^{さきゅう}	26
4. 日本 ^{にほん} の気候 ^{きこう}	26
雪 ^{ゆき} の多い ^{おおい} 地方 ^{ちほう} の生活 ^{せいかつ}	28

みず たなか のう び へい や 水と戦う濃尾平野	29
シラス だい ち シラス台地	31
に ほん さん ぎょう 日本の産業	32
1. に ほん のう ぎょう 日本の農業	32
のう さん ぶつ 農産物	33
2. に ほん すい さん ぎょう 日本の水産業	35
せ と ない かい ぎょう ぎょう 瀬戸内海と漁業	35
3. に ほん こう ぎょう 日本の工業	36
たい へい しょう ち たい 太平洋ベルト地帯	37
ぜろ ら たい 0メートル地帯	39
さん ぎょう こう がい 産業公害	39
か みつ か ぞ 過密と過疎	43
に ほん こう づう 日本の交通	44
しん かん せん 新幹線	45
語い索引	47

日本

1. 位置

日本はアジア大陸の東にある島国です。

大きい島は、北から、北海道・本州・四国・九州といます。

5 日本の東と南西には太平洋があります。

アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と東シナ海があります。

日本の西には、朝鮮半島や中国大陸があります。また、北には樺太(サハリン)、南には台湾があります。

10 日本のひろさは37万平方キロメートルです。

人口はやく1億です。



日本の位置

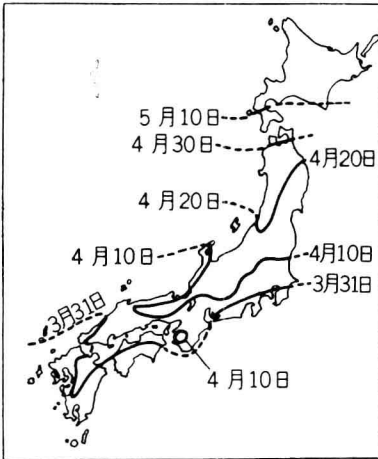
2. 四季

日本は南北にはそ長い国で、あたたかい地方やさむい地方があります。

また、日本には、春・夏・秋・冬の四季があります。三月・四月・五月は春です。六月・七月・八月は夏で、九月・十月・十一月は秋です。十二月から二月までは冬です。

5

北海道では、冬はたいへんさむいですが、夏はあまりあつくありません。



さくらのさく時期

沖縄や九州の南では、冬でも、あまりさむくはありません。

九州では、さくらの花は、三月のおわりにさきませんが、東京では四月のはじめに、北海道では五月のはじめにさきます。

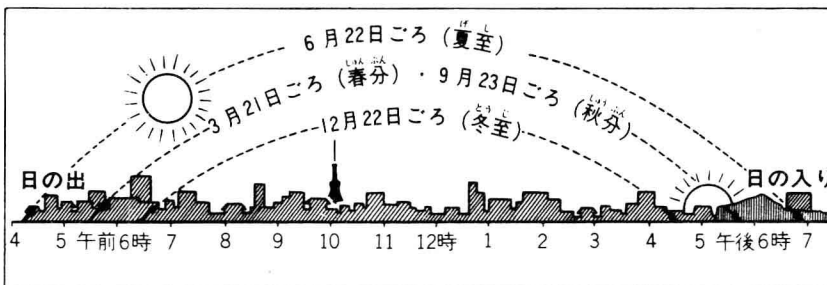
10

日本では、夏は昼間の時間が長いですが、冬は昼間の時間がみじかいです。

三月二十一日ごろと、九月二十三日ごろは昼間と夜の時間が同じになります。春の

15

この日を春分の日、秋のこの日を秋分の日といいます。



東京の「日の出」と「日の入り」

(「理科年表(昭53)」による)

3. 気 候

日本は南北にはそ長い国で、国の中央に高い山があります。それで、日本の気候は、南と北では大へんちがいます。また、日本海がわと太平洋がわでも、大へんちがいます。

日本では、夏には太平洋から南東の風がふきます。冬にはアジア大陸から北西の風がふきます。それで、夏には、太平洋がわでは雨がたくさんふります。また、冬には、日本海がわでは雪がたくさんふります。日本海がわで雪がたくさんふるとき、太平洋がわでは、いい天氣がつづきます。

東京では、夏は大へんあついですが、春と秋はいい天氣になります。東京の平均気温は、一月は4.1度、四月は13.5度、八月は26.7度、十月は16.9度（1975年）です。

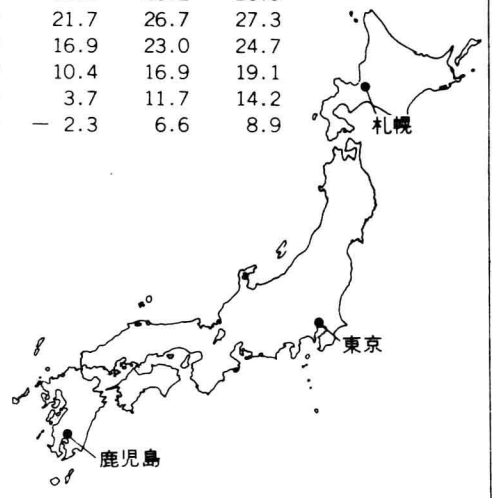


夏の風



冬の風

	札幌	東京	鹿児島
1月	− 5.1	4.1	6.7 (°C)
2月	− 4.4	4.8	7.8
3月	− 0.6	7.9	11.0
4月	6.1	13.5	15.0
5月	11.8	18.0	19.4
6月	15.7	21.3	22.7
7月	20.2	25.2	26.9
8月	21.7	26.7	27.3
9月	16.9	23.0	24.7
10月	10.4	16.9	19.1
11月	3.7	11.7	14.2
12月	− 2.3	6.6	8.9



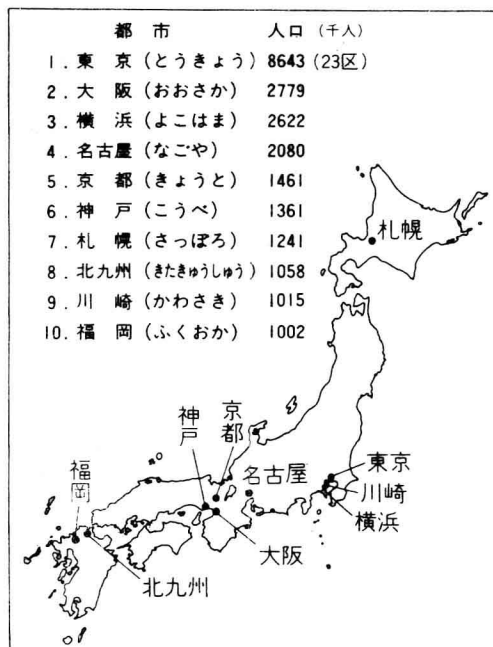
東京・札幌・鹿児島島の平均気温

(「日本の統計(1977)」による)

4. 都 市

日本には人口 100 万以上の都市が十あります。

東京都・大阪市・横浜市・名古屋市・京都市・神戸市・札幌市・北九州市・川崎市・福岡市です。



日本の大きな都市と人口
(「日本の統計 (1977)」による)

東京は日本の首都です。東京の人口はやく 1100 万です。日本の人口のやく $\frac{1}{10}$ (十分の一) の人が東京に住んでいます。

大阪市は、日本で二番目に大きい都市で、人口はやく 280 万です。大阪は、むかしから、商業がさかんなところでは、日本では、

京都市は、今から 110 年まえまでは、日本の首都でした。しずかできれいな町で、お寺やお宮がたくさんあります。

札幌市は北海道の中心の町です。

横浜市や神戸市には大きい港がありますが、工業もさかんです。

名古屋市・川崎市・北九州市・福岡市は工業都市です。

日本では、人口が 5 万人以上の町を市といいます。日本には、市がやく 650 あります。

5. 都・道・府・県

日本には、1都(東京都)・1道(北海道)・2府(大阪府・京都府)・43の県があります。

5 ふつう、日本では、本州を五つの地方に分けます。東北地方・関東地方・中部地方・近畿地方・中国地方です。

東北地方というのは、本州の東北部にある地方という意味です。東北地方には六つの県があります。

関東地方というのは、東の方にある地方という意味で、ここには、東京都のほかに六つの県があります。

10 中部地方というのは、本州の中部にある地方という意味で、九つの県があります。

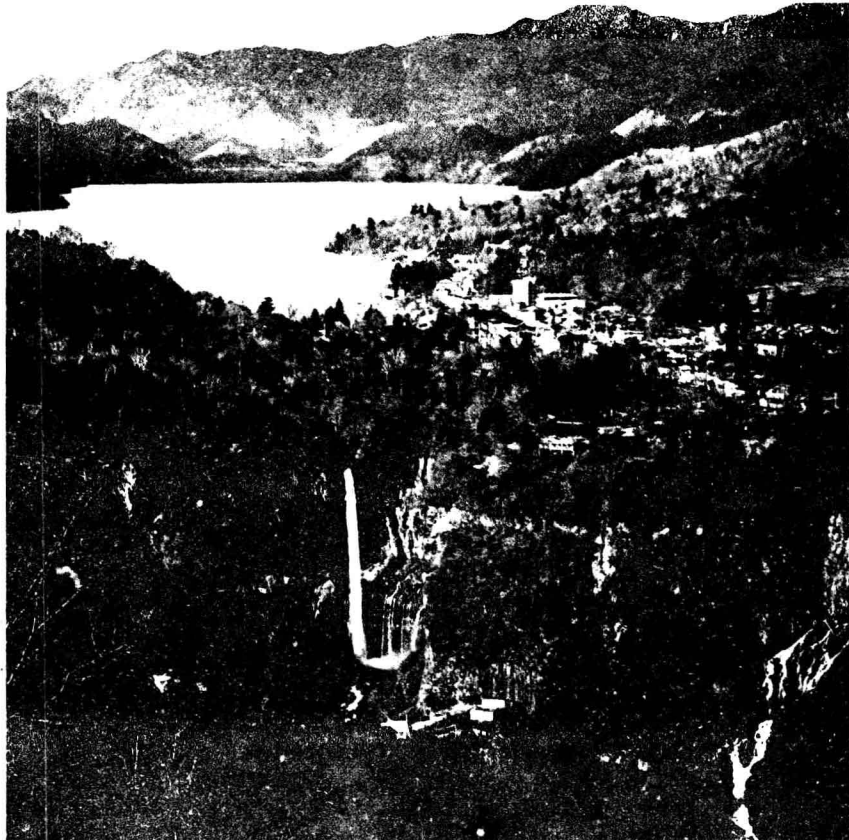
京都府・大阪府がある地方を近畿地方といいます。この地方には、そのほかに五つの県があります。近畿地方というのは、首都に近い地方という意味で、むかし、京都は日本の首都でしたから、こういうのです。

15 中国地方は、本州の西南の地方です。この地方は、京都と九州の中ほどにあるので、こういいます。ここには、五つの県があります。

四国には県が四つ、九州には県が七つあります。九州の南には、沖縄県があります。

北海道には、県はありません。





日光国立公園（中禪寺湖と華嚴の滝）（⇒P.9）



ひょうどういん ほうふうどう
平等院鳳凰堂（⇒P.9）



瀬戸内海 (⇒P. 9)



姫路城 (⇒P. 9)

6. 観 光

日本には、山や温泉がたくさんあって、景色のいい所がたくさんあります。また、美しい海岸もたくさんあります。その中で、とくに景色のいい所は、国立公園になっています。

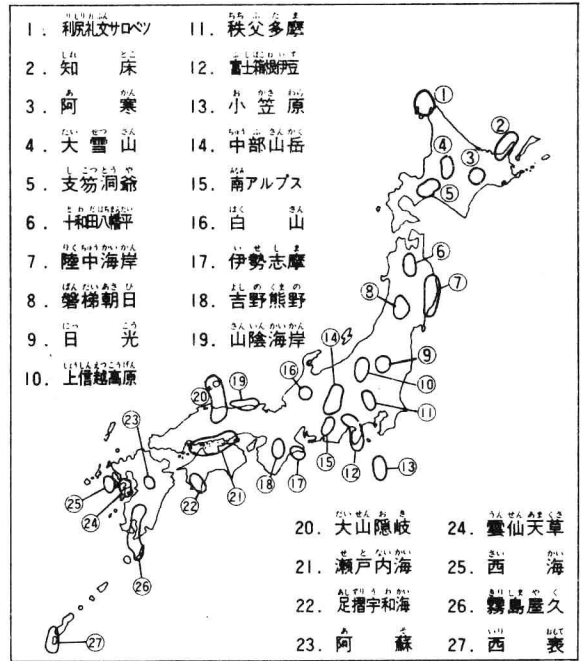
日本には、国立公園が27あります。北海道の支笏洞爺国立公園・九州の雲仙天草国立公園・東京の近くにある富士箱根国立公園などには、山や温泉や湖があって、景色もきれいな所です。瀬戸内海国立公園や、沖縄の西表国立公園は、海岸や海のきれいな所です。

日本には、古い建物のあつる町もあります。京都や奈良は古い町で、お寺やお宮がたくさんあるので、世界のいろいろな国の人々が、ここへ見物に来ます。

日光も有名な所です。日光には 350 年ぐらい前に建てられた東照宮があります。その上、日光には、温泉や湖や滝もあります。

日本には、古いお城もたくさんあります。姫路城は、日本の城の中では一番大きい、美しい城です。

日本では、冬、雪がふるので、中部地方や東北地方や北海道には、いいスキー場がたくさんあります。1972 年には、札幌で冬のオリンピックが開かれました。



国立公園